

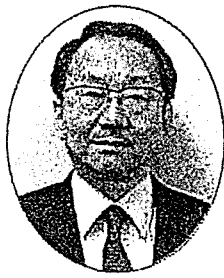
土佐教育研究会

土佐

No.143 2018.6



土佐市立蓮池小学校 1年 わだ こうめい



祝 辞

高知県教育長 伊藤 博明

第47回土佐教育研究会定期大会ならびに研修会の開催にあたり、一言お喜びを申し上げます。

貴研究会におかれましては、昭和47年の創立以来、子どもたちの確かな成長を願い、それぞれの分野で教科等の研究や公開授業を実施されるなど、日々研鑽に励まれ、本県の教員の資質・指導力の向上や教育課題の解決等にご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、皆様もご承知のとおり、新学習指導要領が平成32年度から小学校で、平成33年度から中学校で全面実施されることとなり、それに向け、今年度から移行期間に入っております。そして、この移行期間中においても「総則」については、新学習指導要領の規定によることとなっており、各学校では、総則に示されている生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力の育成を目指す、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が行われなければなりません。

県教育委員会におきましても、このような意図を持つ新学習指導要領の実施を見据え、総合的な学習の時間や教科等において児童生徒自らが課題を発見し、主体的、協働的に物事を探究し、自らの考えを深める授業づくりについて複数の学校を指定し、研究を進め、その考えや方法を広めてまいりました。

現在、各学校では子どもたちに学びへの興味・関心を持たせ、粘り強く取り組む価値ある課題を開発し、子ども同士が協働して学び合う場面を仕組み、さらに他者との対話を通して自分の考えを広げ深めるという授業づくりを進めているところです。

このような時期において、貴研究会がこれからの時代に求められている「主体的」、「創造的」な教育を各部会共通のテーマに掲げ、実践を積み重ねられていることを大変嬉しく、また心強く思うところです。

県教育委員会としましては、今後も、教員同士が学び合う「チーム学校」の構築を核として、新学習指導要領が求める質の高い学びが学校現場で実現できるよう、取り組みを充実させ、本県教育の一層の振興を図りたいと考えており、貴研究会が各学校の授業改善を力強くリードしてくださることを大いに期待しております。

最後になりましたが、貴研究会のますますのご発展とご参会の皆さまのさらなるご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



ごあいさつ

土佐教育研究会
会長 中田 正康

昨年度に引き続き会長を務めさせていただくことになりました。

各役員の皆様や、各支部・専門部の先生方、会員のみなさまとともに、土佐研の活動の充実と発展を目指していきたいと思います。今年も 1 年間どうぞよろしくお願いいたします。

1 年間会長を務めさせていただき感じたことは、全県的な研究や全国レベルの研究の重要性と、土佐研に集う会員の皆様の教育への熱意の大きさです。各市町村では、研修や研究会が開催されていますが、県大会や四国大会、全国大会などの開催は、全県的な組織である土佐研の果たす大きな役割の一つであると思います。他市町村での研究や、他県の実践に学ぶとともに、本県の研究を発信する重要な機会になっています。

また、子どもと教育に対する熱意が、先生方の中に脈々と生きており、その熱意が土佐研を支え、土佐研の共通テーマである「主体的・創造的な教育を求めて」に集約されているのだとも感じています。

教育は、教員が子どもたちに対して、自覚と責任をもって取り組むものです。そこには、まさに、主体性と創造性が求められます。主体性と創造性を支えるものは、教育と子どもに対する熱意だと思います。

教員の世代交代が進む今こそ、熱意をもって子どもと接する、熱意をもって研究を進める、この教育への熱意は、若い教員へ伝えていかななくてはならない重要なことだと感じています。

ある大先輩のことばに、「自分が熱くないのに、人を熱くできるのか」というものがあります。「熱は伝わっていくものですが、まず、自分が熱くなる必要がある、人任せではなく、自ら取り組んでいくことが大切だ」と教えてくれたのではないかと思います。

本年度は、新学習指導要領の実施に向けた移行期間です。平成 32 年度の完全実施に向けた本格的な取り組みが始まっています。土佐研においても、これまでの研究・実践の上に立って、これからの子どもたちに求められる「力」を育成するために、会員の皆さんの知恵を集め、さらなる研究をすすめていきましょう。

これまでの取り組みに、さらなる工夫と改善を加えるなど、不易と流行を見極めながら、みなさまのご協力のもと、土佐研の伝統の灯を大きく燃やしていけますようよろしくごお願い申し上げます。

平成29年度事業実績概要

種別	事業名	実施時期	会場	講師等	参加人数
国語	第49回夏期国語教育学習会	平成29年7月26日・27日	高知会館	二瓶弘行・白坂洋一(筑波大附属小)	309
	第25回国語セミナー(幡多)	平成29年7月25日	JAF幡多農協会館	二瓶弘行(筑波大附属小)	44
	第58回高知県国語教育研究大会	平成29年11月30日	高知市立朝倉小学校	羅波博孝(広島大学院教授)	244
英語	第58回高知県英語教育研究大会	平成29年11月2日	高知市立泰小学校	樋口咲子(千葉大学教授)	61
社会科	第14回社会科セミナー	平成29年7月25日	附属小学校	山井尚健(筑波大附属小)	77
	第65回高知県社会科教育研究大会	平成29年11月24日	南州市立大渡小・香南中	白川景子(中部教育事務所学校保健主任(代理))	58
算数	高知算数セミナー	平成29年7月24日・25日	高知会館	山本良和(筑波大学附属小)他	250
	幡多算数セミナー	平成29年7月26日	四万十中央公民館	山本良和(筑波大学附属小)他	50
	高知県算数教育研究大会	平成29年9月28日	高知市立泉野小・大津中学校	田中博史(筑波大附属小)	60
	支部合同研究発表会	平成30年1月6日	高知県教育センター	中野俊幸(高知大学)他	40
	理科	第23回理科セミナー	平成29年7月31日	附属小学校	森田和良(国学院大学国本短期大学非常勤講師)
小・中	小中学校理科臨地学習会	平成29年7月25日	須崎御手洗川干潟	町田吉彦(高知大学名誉教授)	15
	小学校夏期学習会	平成29年8月3日	高知市立高須小学校		32
	第65回高知県理科教育研究大会(小学校高知大会)	平成29年11月7日	高知市立高須小学校	西川哲也(高知大学教育学部教育学専攻科特任教授)	71
	第65回高知県理科教育研究大会(中学校幡多大会)	平成29年11月21日	黒潮町立大方中学校		39
	夏季研究集会	平成29年8月18日	香美市立香長小学校		10
音楽	第24回高知県生活科・総合的な学習教育研究大会県大会	平成29年12月5日	香美市立香長小学校	松本謙一(金沢大学)	22
	平成29年度合唱指導講習会	平成29年6月3日	附属小学校	高田直裕	30
	高知県唱歌コンクール(合唱の部)	平成29年8月2日	県民文化ホール オレンジ		1500
	高知県器楽コンクール(ピアノ・独奏・連弾の部)	平成29年8月8日	附属小・中学校		700
	高知県唱歌コンクール(独唱・重唱の部)	平成29年9月10日	高知丸の内高校音楽館		800
	第64回高知県音楽教育研究大会(安芸大会)	平成29年11月24日	安芸市立川北小・清水ケ丘中 県立安芸高校・安芸市民会館	若松敏(作曲家)	100
	高知県器楽コンクール(独奏・重奏・合奏の部)	平成29年11月23日	附属小・中学校		400
	最優秀受賞記念演奏会	平成29年12月26日	高知県立美術館芸術ホール		45団体
造形	第58回高知県造形教育研究大会	開催決定が確認されたこと、前年度の県大会では名目の人員が授賞者・発表者を努めていたこと等の理由により、県大会開催を1年控えることになりました。			
	第57回表現・園芸工作・美術科実技講習会 専門研究デッサン	平成29年8月9日	高知大学教育学部版画研究室	阿部英太郎(高知大学)	18
	第57回表現・園芸工作・美術科実技講習会 専門研究版画	平成29年8月10日	附属中学校美術室	川田英二(土佐中学、高等学校)	12
	平成29年度高知県小学校家庭科教育研究大会	平成29年7月31日	高知大学教育学部附属小学校		14
	第4回木工チャレンジコンテスト高知県大会	平成29年8月25日	附属中学校		23
	第15回高知県からくろボットコンテスト	平成29年11月4日	高知工専		202
家庭科	第56回高知県中学校技術・家庭科研究大会	平成29年11月17日	清水ケ丘中学校	別所千典(高知県教育センター・つゆゆき(・指導主事) 高田直裕(高知大学教育学部附属高専)	18
	創造アイデアロボットコンテスト中国・四国地区大会	平成29年12月3日	春野総合運動公園体育館		627
	第58回高知県小学校体育連盟夏季共励会	平成29年8月24日	高知県立青少年センター 野市総合体育館	山崎功一(潮江南小学校) 西田健吾(高知市スポーツ振興事業団)	40
	第31回高知県小学校体育研究大会	平成29年6月29日	津野町立中央小学校	宇賀孝寛(県立青少年センターチーフ)	20
	第56回中学校体育保健研究大会	平成29年11月24日	高知市総合体育館・高知会館	大塚剛弘(県保健体育課チーフ)	33
外国語	高知県中学校英語論大会	平成29年11月11日	高知県立大学本館キャンパス教育研究棟		200
	第42回四国英語教育研究大会(高知大会)	平成29年12月9日	高知県民文化ホール グリーン	安内内留也 (一般財団法人実用英語推進機構代表理事)	250
道徳	第36回高知県道徳教育夏期研修大会	台風接近のため中止となりました。			
	第51回高知県道徳教育研究大会	平成29年12月26日	香美市立保健福祉センター香北	横山利弘(元関西学院大学教授)他	193
土佐	土佐教育研究会特別活動研修会	平成30年1月13日	朝倉小学校	西山清生(高知県教育委員会小中学校指導主事)	30
学校	平成29年度高知県学校図書館教育研究大会	平成29年11月14日	越知小・中学校	西村安雄(高知県教育委員会図書館学び、教師が育つ学校づくり推進課課長(代理))	188
	平成29年度高知県放送・視聴覚教育夏季研修会(西部地区)	平成29年7月22日	三原村農業構造改善センター	上野碩大(CA Tech Kids 代表取締役社長)	40
	平成29年度高知県放送・視聴覚教育夏季特別研修会	平成29年8月22日	ちより街テラス	藤島亨(坊)・山本健治(小) 高岡司(中)・小島久(高)	30
	平成29年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(中学校)	平成29年11月7日	高知市立青柳中学校		10
	平成29年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(小学校)	平成29年11月15日	香美市立山田小学校	佐藤幸江(金沢星稜大学教授)	40
生涯	第52回高知県進路指導研究大会	平成29年10月27日	本山町立瀨北中学校	寺崎千秋(教育調査研究所研究部長)	42
へき地	高知県へき地複式教育夏季研修会	平成29年7月31日	高知県立青少年の家		25
	第66回全国へき地教育研究大会高知大会				
	第6回中国・四国地区へき地教育研究大会高知大会	平成29年11月1日～2日	高知県立文化ホール他	福留功男(アリアナウンサー)	1000
	平成29年度高知県へき地・複式教育研究大会				
	高知県へき地複式教育冬季研修会	平成30年1月17日	高知県立青少年の家		14
環境	まるごと甬喜ヶ峰～親子で体験する高知家の自然環境～	平成29年10月7日	甬喜ヶ峰森林公園	大日首一(香美市)・植田道輝(元市立中校長)	118

平成30年度 活動方針

共通テーマ「主体的・創造的な教育を求めて」

1 活動方針

日本国憲法と教育基本法に精神を立脚し、民間教育団体として、研究の自由を堅持し、教員の資質・指導力の向上を図り、本県教育課題の解決に寄与する。

- (1) 子どもたちの成長と幸福を希求し、主体的・創造的な教育を目指した研究を推進する。
- (2) 全県的な組織拡充を目指し、一層の研究推進とその成果の広報に努める。

2 重点目標

- (1) 現場教員の願いをかなえる研究組織の確立を図る。
- (2) 全県を網羅する研究組織の拡大を図る。
- (3) 児童・生徒の確かな学力定着のために研究活動の充実を図る。
- (4) 新学習指導要領の完全実施に向けた取り組みを進める。

3 実践への方策

- (1) 各部会の特性を生かした創造的・自主的な研究活動を推進する。
- (2) 各支部単位の研究体制確立に努める。
- (3) 各支部や専門部会の研究活動を交流し合うとともに、全国的な動向を研修する機会を設ける。
そのために、本部主催の「第9回 土佐教育研究会研究大会」を開催する。
- (4) 部会の開催を全県的にを行い、地域に根ざした研究の充実を図るとともに、若手教員の育成に努める。
そのために、高知県教育委員会をはじめとする関係機関との連携を図る。
- (5) 研究の成果として、研究紀要を作成する。
- (6) 会報「土佐」を発行し、本会の取り組みを紹介することで、会員相互の連携強化に努める。
- (7) 本会の趣旨に賛同する者の加入を積極的に図り、研究の拡充により教員の資質・指導力の向上に努める。
 - ① 本年度の会員目標数を1,600名以上とし、各部会及び支部、個々の会員等が会員拡大に努める。
 - ・新規採用教員をはじめとする若年会員の獲得
 - ・研究大会、研修会での専門部役員による勧誘
 - ・職場での会員による未加入者への勧誘
 - ② 関連団体への組織的な働きかけの継続
 - ・土佐研ホームページによる広報 (<http://www.kochinet.ed.jp/tosa-k/>)
 - ・校長会、教頭会等で管理職への勧誘
 - ・県教委、地教委等と連携しての勧誘
- (8) 関係機関に補助金及び研究助成金の交付を働きかけるとともに、会員増による会費収入の増額に努める。

平成30年度収支予算

収入の部

単位:円

科目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
会費	2,400,000	2,300,000	△ 100,000	2,000円×1,150人
県補助金	1,000,000	1,000,000		高知県教育委員会
雑収入	100	50	△ 50	預金利息
繰越金	17,889	10,160	△ 7,729	
研究助成金	290,000	270,000	△ 20,000	日本教育公務員弘済会高知支部 文教協会
寄付金	1,000,000	1,000,000		高知県教職員互助会
合計	4,707,989	4,580,210	△ 127,779	

支出の部

単位:円

事業区分	科目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
補助対象事業	部会配分金	1,970,000	2,000,000	30,000	19部会
	中研・四研・全国大会	120,000	0	△ 120,000	
	小計	2,090,000	2,000,000	△ 90,000	
補助対象外事業	本部・支部				
	支部費	500,000	400,000	△ 100,000	
	第9回研究大会	300,000	250,000	△ 50,000	
	小計	800,000	650,000	△ 150,000	
	その他の事業費				
	謝金	0	0		定期大会講師謝金
	旅費	100,000	100,000		定期大会・本部役員会他
	借損料	0	0		定期大会会場費
	消耗品費	5,000	5,000		定期大会看板
	印刷製本費	300,000	450,000	150,000	会報「土佐」(前年度会報含む)
	会議費	5,000	5,000		定期大会・本部役員会他
	通信運搬費	80,000	100,000	20,000	切手・宅配便代
	雑費	30,000	90,000	60,000	配分金振込手数料他
	小計	520,000	750,000	230,000	
	事務局費				
賃金	1,130,000	970,000	△ 160,000	事務手当+通勤手当・事務補助手当	
通信運搬費	35,000	35,000		電話料金	
消耗品費	15,000	15,000		文具類等	
印刷製本費	10,000	10,000		印刷代	
退職手当	50,000	100,000	50,000	前年度分含む	
振込手数料	35,000	35,000		会費振込手数料	
雑費	22,989	15,210	△ 7,779	教職員名簿他	
小計	1,297,989	1,180,210	△ 117,779		
合計	4,707,989	4,580,210	△ 127,779		

平成30年度事業計画書

平成30年6月1日現在

事業名	実施時期	場所	講師職氏名
第50回夏期国語教育学習会	平成30年7月23日・24日	高知会館	
第26回幡多セミナー	平成30年7月25日	JA幡多農協会館	
第59回高知県国語教育研究大会	平成30年11月22日	芸西村立芸西小学校	白石範孝
第59回高知県書写教育研究大会	平成30年11月		
第15回社会科セミナー	平成30年7月27日		
第66回高知県社会科教育研究大会	平成30年11月		
「実践」発行	平成31年3月		
高知算数セミナー	平成30年7月25日・26日	三翠園	山本良和(筑波大学附属小)他
幡多算数セミナー	平成30年7月27日		山本良和(筑波大学附属小)他
高知県算数教学教育研究大会	平成30年9月		
支部合同研究発表会	平成31年1月5日	高知県教育センター	
第24回理科セミナー	平成30年7月	附属小学校	
小中学校理科臨地学習会	平成30年7月		
小学校夏期学習会	平成30年7月		
中学校理科夏期学習会	平成30年7月		
高知県理科教育研究大会(小学校)	平成30年11月		
高知県理科教育研究大会(中学校)	平成30年11月		
夏季研究集会	平成30年8月		
第25回土佐教育生活科・総合的な学習部会県大会	平成30年12月		
第65回高知県音楽教育研究大会(高知市大会)	平成30年11月30日	昭和小・一宮中 県立美術館ホール	若松欽(作曲家)
第58回高知県造形教育研究大会	平成30年11月		
第58回表現・図画工作・美術科実技講習会 専門研究デッサン	平成30年8月上旬	高知大学	
第58回表現・図画工作・美術科実技講習会 教材研究版画	平成30年8月上旬	附属中学校	
平成30年度高知県小学校家庭科教育研究大会	平成30年7月		

平成30年度事業計画書

事業名	実施時期	場所	講師職氏名
第5回木工チャレンジコンテスト高知県大会	平成30年8月	附属中学校	
中学校技術・家庭科夏季学習会	平成30年8月		
幡多・四万十地区技術・家庭科夏期研修会	平成30年8月	中村中	
「豊かな生活を創るアイデアハック」コンクール高知県大会	平成30年8月	附属中学校	
高知県中学校技術・家庭科生徒作品コンクール	平成30年10月	横浜中	
第16回高知県からくりロボットコンテスト	平成30年11月	高知工専	
第57回高知県技術・家庭科研究大会	平成30年11月	高知市	
第59回高知県小学校体育連盟夏季共励会	平成30年8月	安芸地区	
第32回高知県小学校体育研究大会	平成31年1月	幡多地区	
第57回小学校体育保健研究大会	平成30年10月	高岡・吾川地区	
高知県英語教育研究大会	平成30年8月	高知大学又は教育センター予定	
第47回高知県教育文化祭 第70回高知県英語弁論大会	平成30年11月	高知大学又は教育センター予定	
第37回高知県道徳教育夏期研修大会	平成30年8月	東部地区	田邊重任(元高知大学教育学部准教授)
第52回高知県道徳教育研究大会	平成30年12月26日		横山利弘(元関西学院大学教授)
第50回特別活動研究大会	平成30年12月		
2018年度高知県学校図書館研究大会	平成30年11月29日	オーテピア高知図書館	
高知県放送・視聴覚教育研究会夏季研修会(東部地区)	平成30年7月上旬		
高知県放送・視聴覚教育研究会夏季研修会(西部地区)	平成30年8月上旬		
高知県放送・視聴覚教育研究会夏季特別研究会	平成30年8月中旬	高知市	
平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会	平成30年11月上旬		
第53回高知県進路指導研究大会	平成30年10月		
高知県へき地複式教育夏季研修会	平成30年7月27日	高知青少年の家	
平成30年度高知県へき地・複式教育研究大会	平成30年10月19日	吾北小学校	
高知県へき地複式教育冬季研修会	平成31年1月25日	高知青少年の家	
自然体験活動とクラフト作り	平成30年10月	南喜ヶ峰森林公園	
第9回土佐教育研究会研究大会	平成30年8月17日	高知市立自由民権記念館	西原美幸 (広島大学附属小学校 指導主事)
東部支部研究大会	平成30年10月～11月		
中部支部研究大会	平成30年10月～11月		
高岡支部研究大会	平成30年10月～11月		
西部支部研究大会	平成30年10月～11月		

平成30年度 土佐教育研究会東部支部活動計画

1 支部の組織構成（平成30年度役員名簿）

役職	氏名	勤務校	役職	氏名	勤務校
支部長	明石 芳文	舟入小学校	事務局	岡崎 裕彦	伊尾木小学校
研究部長	浜地 洋一	片地小学校	研究副部長	吉良 和夫	吉川小学校
事業部長	平石 誠	穴内小学校	事業副部長	中島 佳史	片地小学校
組織部長	山岡 大二	安芸第一小学校	組織副部長	大井 厚志	佐古小学校
広報部長	岡松 治彦	川北小学校	広報副部長	門田 満穂	野市東小学校
会計部長	森田 卓志	大宮小学校	会計副部長	白石 ゆり	香長小学校

2 支部役員会

第1回 平成30年 6月16日（土） 佐古小学校 9:30～11:00
 第2回 平成31年 2月 2日（土） 野市東小学校 9:30～11:00

3 東部支部総会・研修会

(1) 期 日 平成30年7月21日（土） 14:00～16:30

(2) 場 所 芸西村生涯学習館 学習室

(3) 内 容

◇ 研修会（90分程度）

演題 「 未 定 」

講師 ()

◇ 東部支部総会

① 支部長あいさつ

② 報告

ア 平成30年度活動方針及び予算について（定期大会の報告）

イ 平成30年度の役員について（定期大会の報告）

③ 議事

ア 平成29年度東部支部活動報告について

イ 平成29年度東部支部決算について

ウ 平成30年度東部支部活動計画（案）について

エ 平成30年度東部支部予算（案）について

オ 平成30年度東部支部役員について

カ その他

④ 新役員あいさつ

4 東部支部教育研究会について

(1) 期 日 平成30年12月 8日（土） 14:00～16:40

(2) 場 所 未 定

(3) 内 容

① 開会行事（開会あいさつ）

② 日程説明

③ 実践発表 14:10～

実践発表Ⅰ (理科) 部会 (片地小学校) () 先生

実践発表Ⅱ () 部会 () 学校 () 先生

④ 講 演 15:10～

演題： 「 未 定 」

講師： ()

⑤ 閉会行事（閉会あいさつ）

中部支部活動計画

1 支部の組織構成（平成30年度役員名簿）

支部長	大谷 俊彦	本山町立嶺北中学校
事務局	高橋 雅兄	南国市立奈路小学校
研究部	川端 純子	南国市立日章小学校
事業部	島内 祥夫	南国市立岡豊小学校
組織部	武市 親典	大豊町立おおとよ小学校
広報部	藤本 由美	南国市立三和小学校
会計部	田上三恵子	本山町立本山小学校

2 支部の取り組み

○ 支部の活動計画

①各教科等研究大会補助

- ・補助する研究大会（県大会・全国大会）については現在情報収集中

②研究会の開催

- ・講師を招聘しての研究会
- ・県外講師を招聘しての研修会（日章小・嶺北中等を予定）
- ・小・中共通課題での研究会の実施

○ 組織拡大の取り組み

- ・各校、役員を中心に組織拡大の取り組み
- ・補助をする研究大会等で「入会のご案内」の配布

○ その他

- ・役員会の開催

平成30年度 土佐教育研究会 高知市支部 活動計画

1 支部の役員

職名	氏名	学校名	所属名
支部長	森 一正	五台山小学校	高知市教育研究会 会長
副支部長	岡林 宏枝	大津小学校	高知市教育研究会 副会長
副支部長	岡野 晃之	朝倉第二山小学校	高知市教育研究会 副会長
事務局長	西森 真理	潮江東小学校	高知市教育研究会 事務局長
事務局次長	水江 美和	秦小学校	高知市教育研究会 事務局次長
研究部長	篠田 直男	介良小学校	土佐教育研究会 研究部副部長
事業部長	岡田 定之	一ツ橋小学校	土佐教育研究会 事業部副部長
組織部長	松岡 聖士	横内小学校	土佐教育研究会 組織部副部長
広報部長	武林 勝志	五台山小学校	土佐教育研究会 広報部副部長
会計部長	弘瀬 直美	旭東小学校	土佐教育研究会 会計部副部長

2 支部の取組

○ 支部の活動計画

(1) 各教科・領域での研究活動の推進

・高知市教育研究会等の各研究団体との連携した研究実践・研究大会の開催

(2) 組織拡大の取組

・各校、役員を中心に組織拡大の取組

(3) 講演を含む研究活動の推進

・各教科研究会の支援

2 土佐教育研究会 第9回研究大会

(1) 期 日 : 平成30年8月17日(金)

(2) 主 催 : 土佐教育研究会 土佐教育研究会高知支部

(3) 会 場 : 高知市自由民権記念館

(4) 日 程 : 12:45~13:00 受付

13:00~13:15 開会行事

13:15~15:00 支部提案【3支部】(高知・中部・西部)

15:10~16:40 講演

(5) 講 師 : 西原 美幸(広島大学附属小学校指導主事)

平成30年度 土佐教育研究会高岡支部・活動計画

1. 支部組織構成

役職名	氏名	勤務校	役職名	氏名	勤務校
支部長	弘光 敦	米奥小	組織部長	杉野 雅彦	浦ノ内中
事務局	坂本 隆志	黒岩小	広報部長	青木 美珠	蓮池小
研究部長	中越 あかね	東又小	会計	石川 美香	中央小
事業部長	黒瀬 忠行	上ノ加江小			

2. 高岡支部の活動計画について

(1) 高岡支部役員会(会長・事務局・会計)

期 日：平成30年4月20日

内 容：平成30年度高岡支部活動方針・活動内容の検討

(2) 高岡支部総会並びに研修会

期 日：平成30年6月18日(月) 15:30～17:00

会 場：須崎市

内 容：

①土佐研高岡支部、教科・支部役員の確認

②第9回土佐教育研究大会について

■参加体制：支部で10名以上参加を確認

③高岡支部の活動計画について(研究会・学習会等)

■土佐研高岡算数サークル学習会：毎月1回 土佐市教育研究所にて

■高岡理科部会：子ども理科教室、夏休み標本教室、教材研究 他

■道徳部会・特活部会・技術家庭部会・生活部会・家庭科部会：研修会・教材研究等

④研修会【講師調整中】

(4) その他

■会費を、速やかに納入することを呼びかける。

■新規会員加入を、個々で呼びかけする。

■各部会に、活動資金を配分する。

■平成31年2月に、年度末の総会・研修会を予定。

平成30年度 西部支部活動計画

1 支部組織構成

平成30年度			
役職名	氏名	勤務校	主な職務内容
支部長	布 正人	黒潮町立三浦小学校	支部総括
副支部長	今津 一志	四万十市竹島小学校	
事務局長	清家 利華子	宿毛市立松田川小学校	諸事務担当
研究部長	池上 みどり	四万十市立大用小学校	研究の充実、 共催活動の促進
事業部長	坂本 恭美子	黒潮町立南郷小学校	人材バンクの 構築
組織部長	大橋 更三	四万十市立東中筋中学校	加入促進
広報・会計 部長	大原 淳子	四万十市立中筋小学校	広報活動の充実

2 支部の活動

(1) 西部支部役員会

- 第1回 平成30年6月2日(土) 組織確認・活動計画
- 第2回 平成31年2月2日(土) 活動報告・成果と課題、次年度の方向性

(2) 支部総会並びに研修会

- 第4回 未定

(3) 組織拡大の取り組み

- ・平成30年度の支部組織の構成や活動計画について支部で協議し、本年度の取組や役員
の決定、任意研究団体の土佐教育研究会との関連性や運営等について確認する。
- ・西部支部には独自の任意研究団体が多くあるので、将来性を考慮し、連携を図りながら
研究を推進していく。
- ・土佐教育研究会や西部支部の存在を周知するように、支部総会の開催と重ねて広報活動
を行う。

(4) 後援を含む研究活動の推進

- ・土佐教育研究会西部支部総会並びに研修会の実施
- ・幡多国語セミナー、幡多算数セミナーの後援
- ・幡多道德教育研究大会の後援

平成30年度 役員名簿

役員	氏名	勤務校	役員	氏名	勤務校
会長	中田 正康	小高坂小	組織部長	吉村 美恵子	初月小
副会長(高知)	森 一正	五台山小	副部長(高知)	松岡 聖士	横内小
〃 (東部)	明石 芳文	舟入小	〃 副部長(東部)	山岡 大二	安芸第一小
〃 (中部)	大谷 俊彦	嶺北中	〃 副部長(中部)	武市 親典	おおとよ小
〃 (高岡)	弘光 敦	米奥小	〃 副部長(高岡)	杉野 雅彦	浦ノ内中
〃 (西部)	布 正人	三浦小	〃 副部長(西部)	大橋 更三	東中筋中
事務局長	西本 文雄	斗賀野小	広報部長	小比賀 博	鏡 小
〃 次長(高知)	山下 美奈子	小高坂小	〃 副部長(高知)	武林 勝志	五台山小
〃 次長(東部)	岡崎 裕彦	伊尾木小	〃 副部長(東部)	岡松 治彦	川北小
〃 次長(中部)	高橋 雅兄	奈路小	〃 副部長(中部)	藤本 由美	三和小
〃 次長(高岡)	坂本 隆志	黒岩小	〃 副部長(高岡)	青木 美珠	蓮池小
〃 次長(西部)	清家 利華子	松田川小	〃 副部長(西部)	大原 淳子	中筋小
研究部長	藤原 祐三	第四小	会計部長	西本 壽香	旭東小
〃 副部長(高知)	篠田 直男	介良小	〃 副部長(高知)	弘瀬 直美	旭東小
〃 副部長(東部)	浜地 洋一	片地小	〃 副部長(東部)	森田 卓志	大宮小
〃 副部長(中部)	川端 純子	日章小	〃 副部長(中部)	田上 三恵子	本山小
〃 副部長(高岡)	中越 あかね	東又小	〃 副部長(高岡)	石川 美香	中央小
〃 副部長(西部)	池上 みどり	大用小	〃 副部長(西部)	大原 淳子	中筋小
事業部長	山田 洋士	朝倉中	会計監事	岡林 章子	潮江東小
〃 副部長(高知)	岡田 定之	一ツ橋小	〃	松下 整	城北中
〃 副部長(東部)	平石 誠	穴内小			
〃 副部長(中部)	島内 祥夫	岡豊小			
〃 副部長(高岡)	黒瀬 忠行	上ノ加江小			
〃 副部長(西部)	坂本 恭美子	南郷小			

平成30年度 専門部会役員名簿

部会	部会長	勤務校	事務局長	勤務校
国語	岡田 定之	一ツ橋小	深瀬 明子	附属小
書写	大谷 俊彦	嶺北中	正岡 雅代	春野東小
社会	伊藤 浩昭	昭和小	田村 隆吏	朝倉第二小
算数	吉良 和夫	吉川小	尾知 寿信	井ノ口小
理科	猪原 靖	横浜新町小	宮本 友里奈	介良中
生活	白石 ゆり	香長小	廣瀬 愛	附属小
音楽	濱田 陽治	佐川町教育委員会	中石 淑江	一宮中
造形	達川 浩一	江ノ口小	松田 陽一	附属小
小家	岩本 初美	加茂小	濱岡 かおり	附属小
技家	山田 洋士	朝倉中	福田 元一	旭 中
保体	田内 聡	潮江小	内田 裕文	潮江小
外国	竹崎 優子	土佐山学舎	寺尾 順子	愛宕中
道徳	西尾 洋之	北陵中	門脇 正	加領郷小
特活	中野 博文	北川小	小松 朋子	春野東小
図書	近澤 玲子	第四小	野田 綾	横内小
視覚	浜地 洋一	片地小	梶原 和美	山田小
進路	鍋島 智	吾北中	今西 一成	夜須中
へき	黒瀬 忠行	上ノ加江小	黒瀬 忠行	上ノ加江小
環境	杉村 知之	春野東小	松岡 寛	高知小

土佐教育研究会会則

第 1 章 総 則

第 1 条 (名称) 本会は土佐教育研究会と称する。

第 2 条 (目的) 本会は職能団体であって、教育に関する研究を行い、本県教育の振興に寄与することを目的とする。

第 3 条 (基本方針)

1. 日本国憲法と教育基本法に精神に立脚し、民間研究団体として、研究の自由を堅持し、その課題と使命にこたえる。
2. 子どもたちの真の幸福と成長を希求し、主体的・創造的な教育を目指した研究をすすめる。
3. 全県的に全分野の専門部会にわたる組織を拡充して自主的、民主的な活動運営をはかる。
4. 本県の実態の把握に立った実践計画をたて、研究の全域化を行うとともに全国組織との連携を深める。

第 4 条 (事務所) 本会の事務所を会長の指定する場所に置く。

第 5 条 (事業) 本会は第 2 条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会、講演の開催
2. 研究、調査、成果の刊行及び会報の発行等
3. 会員の福利厚生並びに相互の親和
4. 教育関係機関、団体との連携
5. その他本会の目的達成に必要な事業

第 6 条 (資格)

本会は義務教育諸学校に勤務する教職員および保育園、幼稚園関係、その他本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。

第 7 条 (支部、専門部会)

本会は第 5 条の事業を円滑にするため、支部、専門部会を置く。

1. 支部は、東部、中部、高知、高岡、西部の 5 支部とする。
2. 専門部会は、国語、書写、社会、算数・数学、理科、生活、音楽、造形、小学家庭、技術・家庭、保健体育、外国語、道徳、特別活動、学校図書館、視聴覚進路指導、へき地教育、環境教育の 19 部会とする。

第 2 章 機 関

第 8 条 (決議機関) 本会の決議機関は大会とする。

第 9 条 (大会)

大会は最高決議機関であって毎年 1 回 6 月に開くことを原則とし、臨時大会は代表委員の 3 分の 1 以上の要求があった場合及び本部役員が必要と認めた場合、会長がこれを招集する。

第 10 条 (大会構成)

大会は本部役員（支部長を含む）および各専門部会の代表委員（部会長，副部会長，事務局長の 3 名）をもって構成する。

第 11 条 (大会権限) 大会は次の事を決議する。

1. 会則の承認又は変更に関すること
2. 予算の議決，決算の承認
3. 事業方針ならびに事業計画の決定
4. 本部役員を選出
5. その他必要なこと

第 12 条 (会議) 会議は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し，多数決とする。

第 13 条 (役員会) 本会に次の役員を置く。

- ①会 長 1 名 ②副会長 若干名 ③事務局長 1 名 ④会計部長 1 名
⑤研究部長 1 名 ⑥事業部長 1 名 ⑦組織部長 1 名 ⑧広報部長 1 名
⑨会計監事 2 名

第 14 条 (役員の任務) 役員の任務は次のとおりとする。

1. 会長は本会を代表し，会務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し，会長に事故あるときは，その職務を代行する。
3. 事務局長は会長の下にあって事務ならびに事業を統轄する。
4. 研究部長は、研究会の企画ならびに各支部の連絡調整にあたる。
5. 事業部長は、研修事業の企画ならびに各部の連絡調整にあたる。
6. 組織部長は、組織の拡充強化をはかる。
7. 広報部長は、広報，機関誌等の発行を司る。
8. 会計部長は本会の会計を司る。
9. 会計監事は本会の会計監査にあたる。

第 15 条 (事務局) 本会に事務局を置く。細則は別に定める。

第 16 条 (役員選出)

役員は大会において選出する。但し，事務局長は会長が指名し，大会の承認を得て決定する。

第17条 (任期) 役員の任期は1ヵ年とし、再任を妨げない。

第18条 (次長また副部長)

事務局及び各部(本部役員)には、次長または副部長を置くことができる。

1. 次長または副部長は会長が委嘱する。
2. 次長または副部長は所属長を補佐し、担当部局の任務を遂行する。

第19条 (支部) 各支部に支部長を置く。

1. 支部長は各支部において選出し、支部運営をはかる。
2. 支部運営の細則は支部ごとに定める。
3. 支部運営は各専門部と連携をとる。

第20条 (専門部会) 各専門部会に部会長を置く。

1. 専門部会長は各専門部会において選出し、その運営を司る。
2. 各専門部会の細則は専門部ごとに定める。
3. 各専門部会の運営は各支部と連携をとる。

第 3 章 会 計

第21条 (会費)

本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をあてる。
会費は年額2,000円とする。

第22条 (会計年度) 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附 則

昭和56年5月29日 一部改正
平成4年6月29日 一部改正
平成5年6月21日 一部改正
平成13年6月25日 一部改正
平成22年6月20日 一部改正

昭和47年～昭和49年 会費 1,000円
昭和50年～昭和55年 会費 1,200円
昭和56年～昭和61年 会費 1,500円
昭和62年～平成12年 会費 1,800円
平成13年～ 会費 2,000円

	== == == == ==	
	年間会費	
	2,000円	
	== == == == ==	

《国語部会》

第58回 高知県国語教育研究大会

1. 大会主題 活用力を育てる国語科授業づくり
2. 会場 高知市立朝倉小学校
3. 主催 土佐教育研究会国語部会
4. 大会内容 提案授業，分科会，講演
5. 提案授業

学年・組	授業者	单元名	教材名
1年3組	田鍋光枝	「おはなししょうかいカード」を書いてお気に入りの本を紹介しよう	「おとうとねずみチロ」
2年3組	西本めぐみ	「あなのやくわり」をクイズで紹介しよう	「あなのやくわり」
3年2組	関美沙紀	世界の住宅展示場パンフレットを作ろう	「人をつつむ形」
4年1組	石本泰三	シリーズを読んで物語を深く読み味わおう	「世界一美しいぼくの村」
5年1組	大坪美記	「お気に入りの人物」を紹介しよう	「手塚治虫」
6年1組	中尾 真	朝倉のプロフェッショナルを紹介しよう	「プロフェッショナルたち」
中学1年	森脇彩衣 (朝倉中学校)	論点を捉えて 根拠を明確にして魅力を伝えよう	「鑑賞文を書く」

6. 分科会助言者・司会者・記録者

学年	助言者	司会者	記録者
1年	田中元康 (高知大学教育学部附属小教諭)	守屋治栄 (江陽小)	高崎 悠 (十津小)
2年	下村俊雄 (江陽小教諭)	片岡倫生 (江陽小)	水田麻希 (十津小)
3年	瀬戸保彦 (中部教育事務所指導主事)	石川三智代 (一ツ橋小)	橋本弓佳 (小高坂小)
4年	豊田益子 (枝川小教頭)	水田真弓 (神田小)	藤岡真季子 (神田小)
5年	西岡博子 (潮江東小教諭)	伊藤恵子 (泉野小)	一圓典子 (長浜小)
6年	小瀨みほ (高岡第一小教諭)	今久保真紀 (江陽小)	佐野祥代 (朝倉第二小)
中学1年	津野千代美 (高知市教育研究所指導主事)	尾崎由美 (旭中)	三野和香子 (鏡中)

7. 講演
講師 難波博孝先生 (広島大学大学院教授)
演題 高知から興す，新しい国語の学び
-ほんものの「深い学び」に向けて-

8. 大会を終えて

「活用力を育てる国語科授業づくり」という主題のもと，提案授業と講演を中心とした教育研究大会が行われた。提案授業では，全学年で各1学級が提案授業として公開された。授業後の分科会では，提案授業をもとにした話し合いが行われた。また，講演では，講師としてお招きした広島大学大学院教授の難波博孝先生に，「高知から興す，新しい国語の学び—ほんものの『深い学び』に向けて—」という演題のもと，次期学習指導要領改定において示される資質・能力を子どもたちに育むために，指導方法の不断の見直しの視点として，これからの国語教育へのご示唆をいただいた。県下から集まった参会者より，「明日からの授業づくりに生かせる有意義な会でした」という声を多数聞くことができ，充実した研究大会になった。

1 期日・会場 平成 29 年 11 月 2 日（木） 高知市立秦小学校

2 公開授業

(1) 1 年 「文字の形」

この授業では、漢字の外形に気をつけて書くことを目標として学習を行った。練習用紙やカラーシートを活用し、めあてにせまろうとした。児童が興味を持って学習に取り組めるよう、文字の外形を捉えさせる練習用紙にキャラクターを取り入れ、縦長や横長、台形の外形を捉えさせた。

児童は自分が書いた文字にカラーシートを重ねて、外形を正しくかけているかどうかを確かめることができていた。

(2) 3 年 「はね（小）」

この授業では、「はね」の書き方を身に着けることを目標として学習を行った。拡大手本や運筆映像（DVD）を活用し、筆の穂先の動きを捉えさせようとした。手元の拡大映像も見せて、穂先の動きを分かりやすく提示できた。授業者が水書板を使ってバッドモデルを書いて見せたことも効果的で、その後、水書板で正しい「はね」の筆づかいを見せていた。

児童は「小」を書いた後、相互批評を行って、お互いの文字の良くなったところを見つけ、振り返りカードに記入して、自分自身でも文字の良くなったところを見つけていた。

3 分科会

1 年生の分科会では、児童の書いた文字を相互評価した際、「おれ」や「はらい」は評価がしやすいが、外形の評価は難しい面もあったという意見が参加者から出された。また、「どの画を短く書くか。」という発問が児童には難しいようであったが、実際にマス目黒板に書く活動を取り入れたら良いという意見が出された。

3 年生の分科会では、拡大手本や運筆映像（DVD）が効果的に活用されていたという意見が参加者から出された。特に手元の拡大映像が効果的だと感じたという意見も出された。最初に児童のノートの文字を電子黒板で提示したのは、どのような意図があったのかという質問に対して、硬筆の文字に毛筆の学習を生かしていくことを意識させるねらいがあったという授業者からの回答があった。

4 講演

千葉大学教授 樋口咲子先生を講師にお迎えして「書字過程を重視した書写の指導内容と文字文化」の演題で、ご講演をいただいた。新学習指導要領の重要ポイントととして点画の書き方を取り上げられ、朱墨を筆につけ、その穂先に墨汁をつけ文字を書くことで穂先の通り道がよく分かることを話された。また、実際にそのやり方で書かれて実物投影機で提示された。書写教育の意義としては、小学校書写では文字を正しく書くことが目指されており、誰がやっても字形が整うように原理原則を身につけさせる必要を話された。文字文化については、いろいろな形の漢字を資料で見たり、甲骨文字を読んだりした。硬筆の持ち方を確認するため輪ゴムを人差し指に 2 重にしてかけ、その中に筆記具を入れるということをお話いただき、参加者も実際に筆記具を持って書く活動も行った。筆順や点画のつながりは、お話を聞きながら実際に書くことによって、より具体的で分かりやすい内容となった。

樋口先生の実技も交えた講演によって、「書字過程を重視した書写の指導内容と文字文化」について、多くのご示唆をいただいた。

《社会科部会》

第 65 回高知県社会科教育研究大会

1. 研究主題 「人々の営みに学び、社会を切り拓く力を育てる社会科学習」
2. 副 主 題 (中学校)
地理的分野「それぞれの地域の人々の営みに学び、社会を切り拓く力を育てる社会科学習」
歴史的分野「時代を支え、動かしてきた人々の営みに学び、社会を切り拓く力を育てる社会科学習」
公民的分野「新しい時代を生きる人々の営みに学び、社会を切り拓く力を育てる社会科学習」
3. 期 日 平成29年11月24日(金)
4. 会 場 (小学校部会・全体会場) 南国市立大湊小学校
(中学校部会) 南国市立香南中学校
5. 公開授業・分科会の協議内容

(1) 小学第4学年 「私たちの高知県のようす」

- ・ハウス体験やパンフレットなどの資料の準備など子どもたちにたくさん種をまいていたのが良かった。
- ・課題の場面で先生が課題をすぐに出してあげたらよかった。子どもたちは言葉にできないだけで、気持ちや思いそこに向かっていた。
- ・書けていない子どもへの手立て、用意した地図を活用して気付いたことを考えせるとよい。

(2) 小学第6学年 「新しい日本へのあゆみ」

- ・今までの歴史学習はどちらかというと分らせる授業(知識・理解を深める授業)だった。しかし、これからは、これから生きていくための素地となる力をつけていく必要がある。人々の営みが学びにつながっていることを読み取っていくことが大切である。単なる知識でなく、この地図の裏側にある「人」が見えることが大切である。
- ・本時は、調べる時間が多かったが、日頃の評価が上手である。教師がどういうことを大事にしているかが、自然に子どもたちにも伝わってわかっていく。現在から将来どうなっていくのかを考えていける子どもになっていくのではないか。

(3) 中学第3学年 「消費生活と市場経済」

- ・「表現力が弱い」ということについて、学習の結果を効果的に発表したり、文章にまとめたりするだけではない。「どのような資料を収集したのか」「どの資料を使ってどんな根拠で」「どんな結論を導き出したか」を効果的に表現することが重要である。
- ・「問い」があって「めあて」がある。「課題」を明確にすることが重要である。「課題」を考えるときに、「どうやったら子どもが解決するための思考に向かうのか」ということを念頭に置いて考えるとよい。小学校の授業づくりでは、「課題」をつくるところから始まる。中学校でも、「課題」をつくる部分を受け継いでいくべきである。そのために、1時間、1時間ごとに課題を設定する、単元ごとに課題を設定する必要がある。

6. 記念講演 演題 「これからの社会科教育実践を考える」

講師 白川 景子 先生 (中部教育事務所 学校経営アドバイザー)

次期学習指導要領は、県社研が追究してきた研究と同じベクトルである。社会科授業の使命は、実際の社会にある・起こる事象を学ぶ事を通じて、自己の生き方や地球に生きる日本人としての在り方を考え、実践する力を身に付けさせることにある。分からないことをどこまでも突き詰めて明らかにしようとする追求力を養うことである。そのためには、先生自身が教材を夢中になって追究すること、仮想現実ではなく現地取材を大切にすること、子どもたちに伝えたいことをもつことなど貴重な示唆をいただいた。

《算数・数学部会》

平成29年度 高知県算数数学教育研究（高知市）大会

1. 研究主題 「創造的に活動し、創造的に表現する子どもの育成を目指して」
2. 期 日 平成29年9月28日（木）
3. 会 場 小学校部会・全体会・・・高知市立泉野小学校 中学校部会・・・高知市立大津中学校
4. 討議内容

【小学校】

○第1学年「たしざん」

本時は、既習事項などを使って計算を考える授業であった。見通しをもって、今までと似ているところ、違っているところを見つけることで、今後の学習に生かすことができる内容であった。ノート指導について話し合いを深めた。

○第2学年「形をしらべよう」

三角形の定義を確認しながら、三角形と四角形を仲間分けしていく授業展開であった。児童の思考に沿った展開が考えられている授業となった。ペア対話について協議し、話す内容の焦点化が重要であることが確認された。

○第3学年「1000より大きい数を調べよう」

単元の導入で、ゲームをする中で課題を見つけ考えていく授業であった。児童に考えさせる内容が焦点化されている授業で、学びを深められるようになっていた。学びを深めることと新たな知の習得について話し合いがなされていた。

○第4学年「がい数の表し方」

買い物をしたときの積の見積もり方法を考えていく中で、取り扱う数値の工夫やワークシートの活用でどの子もできるよう配慮された授業であった。見積もりの方法を目的に応じて気付かせることが大切であることを周知することができた。

○第5学年「分数と小数、整数の関係を調べよう」

整数の除法の商の表し方について考え、課題の共通理解や全体の思考を深めるために、小集団で話し合う活動を取り入れていた。子どもたちの見方や考え方を育てるために、数や図に表す必要感を子どもたちにもたせるにはどうしたら良いかについて話し合うことができた。

○第6学年「速さの表し方を考えよう」

2量のうちの時間または距離をそろえることで、速さを比べることができることを学ぶ授業であった。単位量当たりの習熟具合から5年生の学習とのつながりの大切さを再確認することができた。児童が自力解決ができるような見通しのもたせ方が光っていた。

【中学校】

○第1学年「1次方程式」

方程式の利用の内容について「日常生活の問題から方程式を作る」ことに主点を置き、協議を行った。小学校と中学校の内容を統合し、方程式の有用性については確認するのではなく、実感させることが大切である。また、数学の学習過程のイメージをもとに再度数学の授業としての在り方を本時の授業をもとに再確認できた。

5. 講演

講師 筑波大学附属小学校副校長 田中 博史 先生

演題 「子どもと創る授業～協力・意欲・深化～」

6. 大会を終えて

本年度、会場校をお願いした泉野小学校は教育課程拠点校として長年にわたり算数科を中心とした授業研究を重ねてきており、大会当日も学び合いのある授業を提案していただいた。また、大津中学校でも生徒主体の授業づくりについて学ばせていただいた。

全体会では、筑波大学附属小学校副校長の田中博史先生に「子どもと創る授業～協力・意欲・深化～」という演題で講演をいただいた。参加者全員で考え合っていく形式を取り入れていただいたことで、一人一人が子どもの立場に立った授業づくりの視点について考えることができた。次期学習指導要領を踏まえ、これから自分たちがどうしていかなければならないのか考える良い機会になった。

また、自ら学ぶ力や課題解決能力、共に学ぶ力等の「生きる力」を育むよう、算数・数学科として「思考力・表現力の向上」のために、教材研究や授業研究、学習指導方法の改善など、教育活動の充実と改善を進めていかなければならないことを互いに確認し合うことができた。

<<理科部会>>

【小学校】

第65回 高知県理科教育研究大会 高知大会

- 1 大会主題 「自然に確かにかかわる力を育てる理科教育」
—「わかる, できる, 生かす」理科の学習をめざして—
- 2 会場校研究主題 かかわり合い, 自分のはてなを追究する理科
豊かな活動や体験を通して, 気付き, かかわり合う生活科
- 3 会場 高知市立高須小学校
- 4 講演 演題 「新学習指導要領に基づく理科授業の在り方」
講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川 哲也
- 5 提案授業・授業者 やなぎ学級

ふしぎだな!	森本 壽志 教諭
1年 たのしい あき いっぱい 鱸 里佳 教諭	
2年 うごく うごく わたしのおもちや 亀島 加奈 教諭	
3年 じしゃくのふしぎをしらべよう 森崎 麻里 教諭	
4年 ものの温度と体積 小橋 義純 教諭	
5年 もののとけ方 小林 絵里子 教諭	
6年 てこのはたらき 中澤 悠子 教諭	
- 6 分科会 高岡支部

見通しをもって問題解決に取り組む理科授業の工夫	安井 正仁 教諭 (黒岩小)
-------------------------	----------------

香美香南支部

自然に確かにかかわる力を育てる理科授業	
一流れる水のはたらき	北村 雅夫 教諭 (片地小)

幡多支部

『主体的な学習活動をめざした授業づくり	
—5年理科「流れる水のはたらき」の実践を通して—	中平 和彦 (三浦小)

土長南国支部

自然に確かに関わる力を育てるために	
～「ものの燃え方」の実践を通して～	北村 真一 (稲生小)
- 7 参加者 高知県内より71名参加

【中学校】

第65回 高知県理科教育研究大会 幡多大会

- 1 大会主題 「自然に確かにかかわる力を育てる理科教育」
- 2 会場 黒潮町立大方中学校
- 3 公開授業・授業者 物理 1年

光の性質	岡村 良太 教諭 (大方中)
------	----------------

地学 3年

太陽の動き	井上 忠和 教諭 (大方中)
-------	----------------
- 4 領域別分科会 学習評価 高知支部 吉川 浩樹 教諭 (附属中)
観察実験 安芸支部 中平 晋輔 教諭 (奈半利中)
- 5 参加者 高知県内より40名参加

第24回高知県生活科・総合的な学習教育研究大会県大会

1. 大会主題 21世紀を拓く子ども
～自らの夢を育み、生き生きと豊かに学ぶ子どもの育成～
2. 会場 香美市立香長小学校
3. 主催 土佐教育研究会生活・総合的な学習部会
4. 大会内容 公開授業、授業についての話し合い、講演
5. 公開授業

学年	授業者	单元名	
1年	李由美 教諭	生活	ステップ・アップ
4年	大森崇史 教諭	総合	新改川活用大作戦
6年	大庭雅子 教諭	総合	「Cool Choice」を調べよう

6. 講演
講師 松本謙一先生（金沢大学教授）
演題 「気付きや概念の質を高める生活科・総合的な学習の時間」

7. 大会を終えて
公開授業と講演を中心とした教育研究大会が行われた。公開授業では、生活科から1本、総合的な学習の時間から2本の授業が公開された。どの学年も思考ツールの使い方や掲示物が工夫されており、大変参考になるものであった。その後の授業についての話し合いでは、参会者より多くの意見が出され、有意義な時間となった。また、講演では、講師としてお招きした松本謙一先生に、「気付きや概念の質を高める生活科・総合的な学習の時間」という演題のもと、松本先生の実践をもとにお話をいただいた。子どもたちが生き生きと活動している写真を見せていただく中で、参観者が自然と笑顔になるとともに、「このような授業をしたい」という思いをもった。そして、子どもたちの活動を支えた先生の綿密な計画や準備をお聞きし、たくさんのお話を学ぶことができた。参会者は先生からパワーをもらうことができ、大変充実した会となった。
その一方で、参会者の人数が少ないという課題もある。素晴らしい公開授業や講演にたくさんの方に参加していただき、より充実した会を目指したい。そのために、参会者を増やすための手立てを考えていかなければならない。

《音楽部会》

第64回 高知県音楽教育研究大会（安芸大会）

- 1 大会主題 「つなげよう 今こそ音楽で・・・」
- 2 期日日程 平成29年11月24日（金）午前校種別公開授業 午後全体会
- 3 会場 〈 授業会場 〉 安芸市立川北小学校（2クラス）
安芸市立清水ヶ丘中学校（1クラス）
高知県立安芸高等学校（1クラス）
〈 全体会場 〉 安芸市民会館大ホール 研究演奏 記念講演

4 研究の概要及び成果と課題

小学校部会 [いろいろな おとを たのしもう]

1年生 授業者 松田 里香

意欲がありやる気いっぱいのクラス。星空をイメージして、子どもたちは音楽づくりができていた。子どもが見通しを持って学べる手立てができていた。子どもたちのよく頑張っている姿が見られた。

{曲想を味わいながら、豊かな歌声を響かせよう}

6年生 授業者 大西 貴美子

歌うことが大好きで音楽的センスのある学級。「歌が変わっていくのが楽しい、自分たちで考えて創ることがおもしろい」ことを音楽会への取り組みで感じさせ、つなげていた。

中学校部会 [イメージを表現に生かしたクラス合唱をつくろう]

1年生 授業者 山岡 芳

「曲想を感じ取り表現に生かす体験」を経た生徒がさらに学びを深めるために、より「音楽を形作る要素と雰囲気との関係への気づき」に迫り、表現を工夫して歌う学習を設定し、研究、実践が行われていた。

高等学校部会 [楽曲の創意工夫を生かして合唱しよう]

1年生 授業者 西岡 利恵

当日の授業では、ゴールイメージに向かって、表現の工夫をし、どのように歌うかについて表現意志を持ちながら、各パートの精度を上げ、合唱の基礎を高めることができていた。

研究演奏 吹奏楽 安芸市立安芸中学校、安芸市立清水ヶ丘中学校

安田町立安田中学校、田野町立田野中学校

奈半利町立奈半利中学校 5校の吹奏楽部

合唱 高知県立安芸中学校

5校の吹奏楽部のほとんどが県内の吹奏楽部の中でも歴史と伝統があります、しかし生徒数減に伴い部員数が減っています。日頃少人数で活動をしている5校の生徒にとって、大編成での演奏ができ貴重な体験になった。また、中学校の合唱もクラス合唱で今回役割の大切さなど、一人一人の存在を実感することができていた。

5 成果と課題

安芸支部の方をはじめ、県下から約80人の参加者が集まり開催できた。小学校、中学校、高校と各校種の授業やいろいろな演奏、発表にふれる唯一の機会が県大会である。今後支部の交流の場として、各校種の交流の場として発展できるよう運営等よりよい方向を考えていきたい。また、この大会から一日開催に戻りよりよい研修ができることができた。

造形教育研究部会

1 高知県造形教育研究大会

今年度は開催できておりません。

2 第57回表現・図画工作・美術科実技講習会

(1) 専門研究 デッサン

日時 平成29年8月9日(水)

場所 高知大学教育学部 版画陶芸室

講師 阿部 鉄太郎 高知大学講師

内容 モデルのポーズを変えながら人物クロッキー(20分)を複数回実施後、固定ポーズで人物デッサンを行った。デッサンの際の画材は木炭、鉛筆等々で、なかには着彩を行う参加者もいた。モデルの休憩時間を利用し、講師からデッサンについての講話が本やペーパーを用いて行われた。

(2) 教材研究 版画

日時 平成29年8月10日(木)

場所 高知大学教育学部附属中学校 美術室

講師 川田 英二 土佐中学・高等学校教諭

内容 小・中学校での実践に生かせるよう木版画の基本について学習したり、参加者が個々に用意した下絵を用いての版画製作を行ったりした。年度によっては、エッジングやドライポイント等の各種版画に取り組む場合もある。

3 高知県美術教育総合展

(1) 描画・自由平面・版画 審査及び講評会

日時 平成30年1月27日(土)

会場 高知大学教育学部附属小学校 体育館

内容 描画部門、自由平面部門、版画部門の3部門、小学1年から中学3年までの応募作品について審査が行われる。審査後、部門ごとに講評会が行われ、審査員の方々からの講評を聞いている。講評の内容については文書におこし、参加校の教員が共有できるようにしている。

(2) 立体 審査及び講評会

日時 平成30年2月13日(火)

会場 高知県立美術館 県民ギャラリー

内容 立体部門の応募作品について、(1)と同様に取り組んでいる。

(3) 展覧会 及び 講評会

会期 平成30年2月14日(水)～18日(日)

会場 高知県立美術館 県民ギャラリー

内容 展覧会最終日に展示作品についての講評会を講師の方を招いて行っている。「総合展」では、各校の様々な作品を目にする共に、上記のように、審査から展覧会まで複数回の講評会を設け、教員の学びの場としている。

小学校家庭科部会

1. 研究テーマ 「自分の思いやよさを生かし、よりよい生活を創り出すこどもをめざして」

子どもたちにとって、家庭科は自分の思いやよさを発揮できる学習の場でありたい。生活や価値観が多様化している子どもたちの意欲を喚起し、生活に生きる実践力につなげるためには、子ども一人一人の思いに寄り添うことが大切である。そのためには、身近な生活に関するテーマを通じて、それぞれの生活を背景とした思いや願いを交流し、関わり合い、認め合うことが必要である。さらに、自分の生活をよりよくしようという願いをもって学習に取り組み、生活に生かしていくことによって、自己実現の喜びを味わい、生活に生きてはたらく力につながっていくと考えたのである。このような学習を通して、子どもたちの意欲を喚起し、生活に生きる実践力につなげ、自己肯定できる子どもに育てていきたい。

「よりよい生活を創り出す力」は自分の生活の課題を自ら考え、学習で身に付けた知識や技能を活用して、生活をよりよくするために創意工夫し実践する力であるととらえる。日常生活において、自分にできることを自分で行うとともに、今の生活をより快適にするために創意工夫するなど、してもらおう自分から家族のために進んで実践しようとする自分へと伸びていく実践力をもった子どもを育てていきたい。

そのためには、子どもたちに自分の生活を自分のこととしてしっかり見つめさせ、一人一人に思いや願いをもたせ、実践的・体験的な活動を通して、願いや思いの実現に向けた問題解決的な学習を展開することが大切である。家庭生活に関心を持ち、家族や地域の人を思いやり、家族や地域の人々とよりよく生きようとする子どもの育成を目指していく。

2. 今年度の取り組み

○平成29年度高知県小学校家庭科教育研究会 開催

3. 研究大会

(1) 大会主題 「自分の思いやよさを生かし、よりよい生活を創り出すこどもをめざして」

(2) 期日 平成29年7月31日(月)

(3) 会場 高知大学教育学部附属小学校

(4) ワークショップ

①「ごはん・みそ汁」

ここでは、教材やワークシートの紹介しながら、ごはんやみそ汁について指導するに当たってのポイントを伝えた。ワークシートを活用した授業展開例では、ごはんが炊き上がっていく様子を実際に観察しながら書き込んでみることで、授業のポイントを分かりやすくした。また、児童が楽しくみそ汁の作り方を学べるように、みそ汁の作り方を示したカードを紹介し、実際に使ってみることで2学期の授業へのイメージがもてるようにした。

②「手ぬぐいを使った作品作り」

ここでは、百均の手ぬぐいを使用して、手縫いやミシン縫いで作品が作れるようにレシピを紹介し、ワークショップをおこなった。低価格で材料を購入でき、学習段階に応じて手縫いでもミシン縫いでも習得した技術を用いて作れる作品を提案した。

4. 成果と課題

ワークショップはとても好評で、参会者から「2学期の指導に生かしたい」「子どもも楽しめそう」と好評をいただいた。また「吸水あり」「吸水なし」のごはんを食べ比べでは、「こんなにも違いがあるんだ」と驚く姿が見られ、教材の有効性を実感していた。今年は昨年に比べたら参加人数も増えたが、まだまだ少ない。たくさんの人に参加していただけるように、PRの方法を考えると共になるべく実践に即したものを提案できるようにしていきたい。

第56回高知県中学校技術・家庭科研究大会の報告

一 大会開催要項一

1. 主催 土佐教育研究会中学校技術・家庭科部会
2. 後援 高知県教育委員会 高知縣市町村教育委員会連合会
3. 期日 平成29年11月17日(金)
4. 会場 安芸市立清水ケ丘中学校
〒784-0043 高知県安芸市川北甲 5685 TEL 0887-35-2801
5. 研究主題 「自己と家庭や社会とのつながりを理解し、生活を工夫し創造する生徒の育成」
～学習したことと社会とのつながりを意識させるための指導方法～
6. 日程

13:10～13:25	13:25～13:35	13:45～14:35	14:45～15:45	15:55～16:25	16:30～17:00	17:00～17:15
受付	開会行事	公開授業	研究協議	指導助言	(技) 講演 (家) 研究発表	閉会行事

7. 公開授業・研究発表

授業者	内容
安芸市立清水ケ丘中学校 教諭 小松高寿先生	B エネルギー変換に関する技術
安芸市立清水ケ丘中学校 教諭 大西知佐先生	B 食生活と自立
研究発表	内容
香南市立野市中学校 教諭 森田貴子先生	A 家族・家庭と子どもの成長

8. 指導助言

- 高知県教育センターチーフ 別役 千世 (家庭分野)
 高知県教育センター指導主事 伊藤 乃 (技術分野講演) 「新学習指導要領の概要」
 東部教育事務所指導主事 前田 康司 (技術分野)

一 成果と課題一

本大会は東部地区での初開催となりました。初開催には両分野の先生のご尽力がありました。その甲斐あって、日頃から研究熱心なお二人に公開授業の快諾をいただき充実した大会を開催することができました。また、昨年度の中四国大会(高知大会)での内容をさらに洗練した森田先生の発表もしていただけたことで研究の流れを切らずに開催できたことは研究主題を裏付ける大きな成果となりました。別役チーフには昨年度から引き続き継続的なご指導をいただいたことはもとより、伊藤指導主事、前田指導主事が本大会に積極的に関わっていただけ、教育委員会の新学習指導要領の概要や情報を聞くことができたことで、次の研究主題を検討していく上でのご示唆もいただきました。毎回課題となる参加者の広がりや、開催場所についても大きく刷新することができました。技術分野での研究協議では、従来のような方法ではなくワークショップ形式での研究協議を行いました。これは、新学習指導要領での柱である主体的で対話的な学びを、生徒だけでなく教師も体験することで新たな視点を持つことをねらいとしました。参加された先生方には大変好評をいただき、また、授業者が研協議をふりかえることができる成果物を残すことができ、資質向上にも寄与することになったと考えています。

課題としては、この度のような充実した大会に参加できなかった先生方が、より参加しやすい日程の調整が必要であること、また、新学習指導要領の内容を理解することから、授業展開にいたるまでの指導案・ワークシート・評価規準の設定などの研究を推進していくことがあげられます。今後は、事前に教師が模擬授業を体験し、主体的で対話的な深い学びをファシリテートできるスキルを向上することができるような大会を企画していければと考えています。

終わりになりましたが、本大会の開催にあたり、清水ケ丘中学校の宇賀校長先生をはじめ教職員の皆様のご協力に感謝いたしますとともに、ご指導・ご支援いただきました関係各位に、心よりお礼を申し上げます。

小学校体育部会

『第31回高知県小学校体育研究大会』

1. 研究主題

運動好きな子どもを育てる体育学習
～ユニバーサルデザインの視点からの授業を見つめる～

2. 日時・会場等 平成29年6月29日(木) B&Gプール(津野町立中央小学校)

3. 教材名 『水は友達 Let's 水エンジョイ!!』

4. 授業者 横川 理水(津野町立中央小学校 教諭)

5. 講師 宇賀 孝篤(高知県立青少年センター チーフ)

6. 概要

○授業及び事後研

3年生より水遊びから水泳運動に変わり、泳法の習得を目指すこととなる。小プールから大プールに変わり、難易度も増すため、児童にとっては水への苦手意識が生じたり運動嫌いになったりする可能性が大きくなる。そこで、楽しく学習できるように友達とのかかわりや、よりスモールステップでの指導とポイントの説明が必要となってくる。

授業では、前半に浮く・もぐる遊びを取り入れ、恐怖心を和らげた後、主運動を行った。深さに配慮し水中に台を置き怖がることなく活動できるように場の工夫がされていた。

また、ユニバーサルデザインの視点から「焦点化」「視覚化」「共有化」の工夫が多く取り入れられており、本時で視点を当てていた児童がどこにいるのかわからないほど全員が積極的に授業に参加していた。

授業後の話し合いでは、息継ぎの指導の仕方や恐怖心を抱かせないためにも、低学年での水遊びで水に慣れ親しむことを目標としてしっかりと取り組むことが必要であるなど活発な協議がなされた。

全体を通して、最後まで児童が友達とかかわりながら運動を続けており、教師と児童の関係も良好でよい雰囲気の中で活動していた授業であった。

○講師より

3年生では、面かぶりクロールを行うことが目標となる。そのため、学習では息が苦しくなったらその場で立つように指導する方がよいということであった。その方が、無理な息継ぎで、前に顔を上げる癖がつかず今後のクロールの息継ぎ(腕を回しながら横に顔を上げての息継ぎ)指導にスムーズに入れるとのことであった。

焦点化…目標やねらい、活動を絞り、内容理解から論理へ深まるようにする。

視覚化…視覚や感覚、動作等を入り口にして思考できるようにする。

共有化…1人の考えを他の子どもたちに伝え、理解や思考を深めるようにする。

外国語・外国語活動部会

1. 第42回四国英語教育研究大会

- (1) 大会主題 グローバル化に対応した新たな英語教育を目指して
— Learners of English の視点から Users of English の視点へ —
- (2) 期日 平成29年12月9日(土)
- (3) 会場 高知県立文化ホール(グリーンホール他)
- (4) 授業実演(中学校の部)
授業実演者 高知市立旭中学校 指導教諭 田岡 綾
- (5) 授業研究(高等学校の部・ビデオによる授業研究)
授業実演者 高知県立高知西高等学校 教諭 川北 ルナ
- (6) 分科会1 授業実演・研究授業のQ&A
発表者 高知市立旭中学校 指導教諭 田岡 綾
高知県立高知西高等学校 教諭 川北 ルナ
コーディネータ 高知工科大学 教授 長崎 政浩 氏
- 分科会2 即興性を取り入れた言語活動の工夫
発表者 坂出市立坂出中学校 教諭 植松 崇人
愛媛県立八幡浜高等学校 教諭 楠 和仁
コーディネータ 高知県立大学 副学長 五百蔵高浩 氏
- 分科会3 CAN-DOリストの効果的な活用
発表者 今治市立玉川中学校 教諭 八木 啓美
香川県立高松商業高等学校 教諭 高市 めぐみ
コーディネータ 東京外国語大学大学院 教授 根岸 雅史 氏
- 分科会4 小・中、中・高の円滑な接続を図るための指導の工夫
発表者 鳴門市鳴門第二中学校 教諭 福井 英子
高知県立中村高等学校 教諭 松井 貴司
コーディネータ 東京学芸大学 名誉教授 金谷 憲 氏
- 分科会5 外国語活動から英語科へ
発表者 鳴門市立林崎小学校 教諭 坂田 美佳
高知市立はりまや橋小学校 教諭 橋田 佳子
外国語指導員 山本 由紀子
コーディネータ 広島大学大学院 准教授 兼重 昇 氏
- (7) 基調講演 演題 『教師でなく生徒の頭と口が動く授業』
講師 一般財団法人実用英語推進機構代表理事 安河内哲也 氏

2. 第70回高知県中学校英語弁論大会

- (1) 平成29年11月11日(土) 高知県立大学永国寺キャンパス 教育研究棟
(2) 66名の参加で行った。

3. Junior High Schools in NEYAGAWA 2017 English Presentation Contest 視察

- (1) 平成30年1月13日(土) アルカスホール 寝屋川市
(2) 寝屋川市の中学生によるプレゼンテーションの大会を3人で視察研修した。これからの英語教育の進むべき方向を示しているレベルの高い内容であった。

- 1 研究主題 「よりよく生きる力を育む道徳教育の展開」
～自問し内省する道徳の時間を要として～
- 2 日時・場所 平成29年12月26日(火) 香美市立保健福祉センター香北
- 3 公開授業
(1) 授業者 香美市立香北中学校 田村 綾 教諭
(2) 主題名 郷土を愛する態度
(3) 教材名 「ふるさとのあかり」 (高知県教育委員会 「ふるさとの志」)

4 実践発表

	提案題	提案者
小学校	学習者自らが問題意識をもち、教材や友達との対話を通して、自問、内省しながら考えることのできる授業づくりと評価の工夫	香美市立舟入小学校 岡松 永祐 教諭
中学校	「考え、議論する道徳」の授業実践とその評価について	四万十市立東中筋中学校 三石 裕子 教諭

小学校の実践発表では、授業中、発言を苦手とする児童が気持ちを表現するための支援としての思考ツール、キャッチボールインタビュー、三色カードなどを使った授業実践の取組が報告された。また、具体的な評価の例をあげながら、授業の質の向上とともに評価の視点や評価自体が向上していった実践が紹介された。

中学校の実践発表では、毎回の授業を、事前研→授業→事後研のサイクルで行い、授業の質の向上を目指すとともに、「評価メモ」などを使った評価の実践が紹介された。

5 パネルディスカッション

パネラー：元関西学院大学大学院教授 元文部省教科調査官 横山 利弘 先生
香川大学教授 元文部科学省教科調査官 七條 正典 先生
京都産業大学教授 元文部科学省教科調査官 柴原 弘志 先生
コーディネーター：元高知大学准教授 田邊 重任 先生

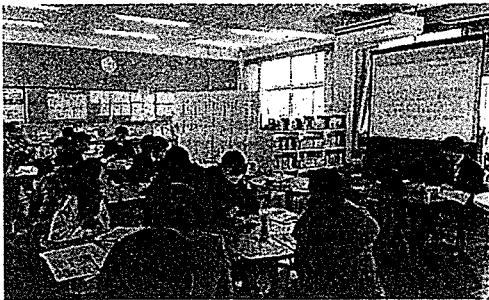
- (1) 道徳の指導方法に関する諸問題について。
- (2) 道徳科の目標をどのようにとらえればよいか。
- (3) 「自問し、内省を深める道徳授業の創造」について。
- (4) 自問し内省を深める道徳授業を展開するときの配慮すべきこと。
- (5) 授業が深まるとはどのようなこと(状態)か。

以上の5点について、各パネラーからご意見をいただいた。その中で、道徳の指導法や道徳科の目標についての概要は、次の通りである。これまでも考える道徳を目指してやってきた。指導法は、いろいろなキャッチフレーズに惑わされないことが大切である。にぎやかにディスカッションしていれば考える道徳をやっているのか。一人一人が自己を見つめ静かに考える道徳もある。指導法が優先されるのではなく、価値理解のために指導法がある。道徳的諸価値についての理解を基に自己を見つめ、その理解をベースに自己の生き方について考えることが大事である。自分の生き方に反映させていくことを道徳授業では大切したい。人生の選択のベースにつながるものを学べるのが道徳の授業である。

特別活動（小）部会

土佐教育研究会特別活動研修会

- 1 研究主題 「よりよい人間関係や豊かな生活を築く特別活動の創造」
- 2 日 時 平成29年1月13日（土） 13:00～14:30
- 3 会 場 高知市立朝倉小学校 図書室
- 4 内 容
 - ① 講話 「特別活動における学習指導要領改訂のポイント」
講師 高知県教育委員会小中学校課 西山 浩生 指導主事



- 1 学習指導要領改訂の基本的な考え方
- 2 主な改訂点
- 3 資質・能力と特別活動の目標
- 4 特別活動における「見方・考え方」
- 5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり
- 6 特別活動における評価

- ② 実践発表 「学社融合で取り組む学校行事 ～6泊7日の通学合宿～」
発表者 須崎市立上分小学校 教頭 中野 博文

- ・「かわうそ未来塾」
- ・地域（ボランティア・保護者）の役割
- ・17年継続の秘訣
- ・異年齢交流
- ・地域の自然・文化体験



- ③ 資料配布

「新学習指導要領に対応した小学校各学年年間活動計画案（学級活動）」
土佐教育研究会 特別活動部会作成

5 成果と課題

教育計画作成のための資料を作り、各学年の内容について見直した。新学習指導要領「特別活動」について理解を深め、今後の方向性について共有することができた。

図 書 館 部 会

「平成29年度高知県学校図書館教育研究大会」について

1. 研究主題 「主体的・対話的な学びを通して、練り合いが深まる授業指導の実践」
2. 期 日 平成29年11月14日（火）
3. 会 場 小学校：越知町立越知小学校
中学校：越知町立越知中学校
4. 内 容

（1）授業・提案授業

今年度は、「探究的な授業づくりのための教育課程研究実践授業(学校図書館活用型)指定校研究発表会」を兼ねて研究大会が行われた。

小学校では、第1学年（国語科）、第4学年（算数科）、第5学年（総合的な学習の時間）、中学校では、第1学年（総合的な学習の時間）、第2学年（理科）、第3学年（音楽科・数学科）の7つの提案授業が公開された。それぞれの授業が、学校図書館資料の活用が工夫された学習内容であった。授業後は、ワークショップ形式の分科会が行われた。研究協議の視点をもとに話し合いがなされ、指導助言や新学習指導要領にかかわる講話が行われた。

（2）分科会の協議から

《小学校1年生 国語科「じどう車クイズ大会」をひらこう！》

研究協議の視点、クレーン車の「しごと」と「つくり」を関係づけて説明できていたかをもとに話し合いが行われた。

*参加者の声より

- 主体的な学びでは、学習リーダーが授業の流れを理解し、自分たちで主体的に授業を進めていたことや振り返りの時間が確保され、自分の学びを振り返る姿が見られた。
- 対話的な学びを深める手立てとして、具体物（クレーン車）が用意されていたことが、児童の理解を図る視覚的な支援や対話的な学びをより効果的にするツールとなった。

5. 成果と課題

今年度、小・中学校の提案授業では、研究主題「主体的・対話的な学びを通して、練り合いが深まる授業指導の実践」をもとに、学校図書館資料を活用した授業が提案された。分科会では、ワークショップ形式で研究協議が行われた。まず、会場校の先生方が授業の課題を話し合い、授業者が改善プランを発表した。次に、参観者を交え、授業について助言者と共に研究協議を行った。

多くの学校や教育委員会、関係機関の協力を得て意義のある研究大会となった。今後も学校図書館資料を活用した授業の研究を重ねていきたい。

《視聴覚部会》

平成 29 年度 高知県放送・視聴覚教育夏季特別研修会

1. 研究主題

「新しい時代を生き抜くため、豊かな心と自ら学ぶ力を育てる

放送・視聴覚教育の果たす役割を推し進めよう。」

2. 期 日 平成 29 年 8 月 22 日 (木)

3. 場 所 ちより街テラス

4. 内 容 幼, 小, 中, 高の放送番組や ICT 活用の実践発表

	実践発表	指導助言
幼稚園	山岡 美智瑠 (杉の子せと幼稚園) 「ピタゴラスイッチ」	鍋島 亨子 (前伊野幼稚園長)
小学校	池 智子 (高須小) 「お伝と伝次郎」	山本 健吉 (寺田虎彦記念館)
中学校	高橋 啓史 (城西中) 「昔話法廷を利用したの道德教育の実践」	宮 英司 (一宮幼稚園長)
高等学校	藤原 公房 (丸の内高等学校) 「化学基礎・地学基礎における視聴覚教材の利用」	小島 一久 (高知学園短期大学長)

5. 参加者数 30 名

平成 29 年度 高知県放送・視聴覚教育研究大会

・テーマ

新しい時代を生き抜くため、豊かな心と自ら学ぶ力を育てる放送・視聴覚教育の果たす役割を推し進めよう

・【中学校】

期 日 平成 29 年 11 月 9 日 (木) 14:40~16:00 会場：高知市立青柳中学校

内 容 公開授業・研究協議「酵素のはたらきを調べよう」

授業者：2年谷村 博貴 (青柳中)

・【小学校】

期 日 平成 29 年 11 月 15 日 (水) 13:40~17:00 会場：香美市立山田小学校

内 容 公開授業・研究協議「物語を作ろう」 授業者：6年 渡辺敏行 (山田小)

講演会 演題「『主体的・対話的で深い学び』と ICT 活用」

講師 金沢星稜大 教授 佐藤 幸江

第52回高知県進路指導研究大会

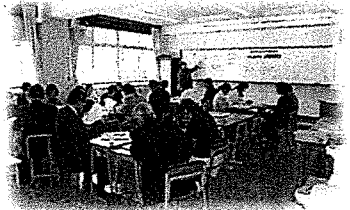
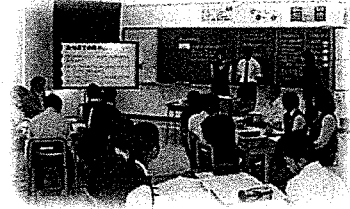
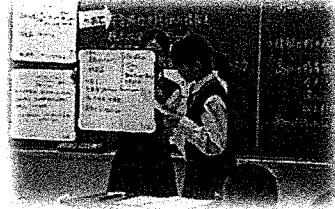
- 1 研究主題 : 「キャリア教育と中学校の進路指導」
- 2 日 時 : 平成29年10月27日(金) 14:10~16:45
- 3 場 所 : 本山町立嶺北中学校
- 4 研究授業 : 単元「本山町再発見」修学旅行を通して学んだことをまとめよう
指導者: 秋田 慶・時久 崇・釣井 智和・小野 香壽美

<【中学2年生・総合的な学習の時間】の授業風景>

5 研究協議

研究協議は、話し合いの視点を“深い学びの実現”におき、ワールドカフェ形式により行われた。

協議を「テーマについての探究」→「アイデアを他家受粉」→「気づきや発見を統合」の3つのラウンドに分け、各テーブルを移動しながら協議内容を共有しつつアイデアを出し合い、最後に参加者全員で情報共有を行った。



<研究協議の様子>

6 講演

- (1) 講師: 一般財団法人 教育調査研究所研究部長 寺崎 千秋 氏
- (2) 講演の概要: 「主体的・対話的で深い学び」とカリキュラム・マネジメント

I 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現とは、教員が教えることにしっかりと関わり、子どもたちに求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を重ねていくこと。これは、“アクティブ・ラーニング”のことを言っている。「学びの在り方」とは、子どもがどう学んでいるか、学んだ結果、次の学びへどう向かっているか、ということである。



- ② 「各教科の特質に応じた学習活動を改善する視点」とは、“アクティブ・ラーニング”は全ての教科等における学習活動に関わるもので、単元や題材のまとまりの中で「ここでは主体的な学びを重視する」というように価値づけていくことが求められる。

II 「カリキュラム・マネジメント」の充実

子どもたちは学校教育目標を理解しているか、それに向けて学校文化が動いているか、学校教育目標の見直しが必要である。新教育課程では、学習の基盤となる資質能力と現代的な課題に対応して求められる資質能力の育成の2つが重視され、それに向けた全体計画の策定が必要となる。カリキュラムを中核に、学校評価と関連づけて、改善(A)を計画(P)につなげるPDCAサイクルの確立が大事となる。

「主体的・対話的で深い学び」と「カリキュラム・マネジメント」は連動して資質・能力の育成ができる。大きく捉えると良い。

平成29年度 活動報告

研究テーマ 「ふるさとで心豊かに学ぶ、新しい時代を切り拓く子どもの育成」

～へき地・小規模校・複式学級を有する学校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

- 全国へき地教育連盟第8次長期5か年研究推進計画の研究主題を受け、その5年次研究として、平成29年度全国へき地教育研究大会（高知大会）を開催し、研究テーマを設定し、県下6会場8校で研究発表を行った。

月	日	曜	会議名	内容（概要）等	備考
5	13	土	第1回役員会・総会 全国大会実行委員会	本年度実行委員体制の確認 大会案内、大会紀要、大会報告書の確認 各部ごとの業務詳細についての確認 分科会運営詳細についての確認など	役員 会員
6	16	金	中国・四国地区へき地 教育連絡協議会	本年度役員・理事確認、各地区活動予定など 第6回中国四国へき地複式研究大会について	役員
7	31	月	実行委員会（午前） 拡大実行委員会 （午後）	大会運営マニュアル、大会日程詳細等の確認 分科会会場校との最終打ち合わせ 会場校発表内容の確認	役員 会員
8	4 5	金 土	附属小学校夏季学習 交流会		会員 一般
9	30	土	実行委員会	研究紀要最終確認、大会日程詳細等の再確認	役員 会員
10	21	土	実行委員会	大会運営関係業者、大会参加者の最終確認 大会運営日程詳細の確認	役員 会員
10	31	火	第66回全国へき地教 育研究大会高知大会	10/31 実行委員会（前日準備、リハーサル） 全へき連理事会、秋季総会、交流会	役員 会員
11	1 2	水 木	第6回中国四国へき 地・複式研究大会 平成29年度高知県へ き地・複式研究大会	11/1 全体会、分散会 11/2 分科会（県内6会場8校）	会員 一般 ※
11	26	土	附属小学校 複式教育研究協議会		会員 一般
2	3 4	金 土	附属小学校 学習指導研究発表会		会員 一般
1	27	土	第2回役員会 実行委員会	全へき高知大会総括、会計報告（監査会） 実行委員会解散	役員 会員

※大会内容につきましては、大会紀要、大会報告書をご覧ください。

環 境 教 育 部 会

1, 研究テーマ 「豊かな感性を育てる環境教育」

2, 活動内容

I, [まるごと甬喜ヶ峰 ～森林で学ぶ高知家の自然環境～]

- ① 期日 平成28年10月7日 土曜日
- ② 会場 高知県立「甬喜ヶ峰森林公園」
- ③ 目的 森林に親しむと共に、森林の役割や環境への関心を高め、本県における自然環境保全の大切さに気づき、自然環境や動植物に対して正しく接する態度を養う。

④ 内容日

〈午前〉

ア, 樹木を知る活動「木工クラフト作り」

- ・森林の働きや自生する植物について学び、廃材を利用してのキーホルダー作りに取り組んだ。

イ, ネイチャーゲーム「キツネ, ウサギ, 葉」

- ・食物連鎖のアクティビティで、食物連鎖の頂点に立つキツネの頂点に立つものの苦勞, 中間に位置するウサギのキツネから逃れようとするストレス, 草を食べなければならないというプレッシャーの板挟みの悲哀などを感じる「喰うと喰われる」の関係を体験した。

〈午後〉

ア, 風力発電所の見学

- ・南国平野から北山を見上げれば、遠く甬喜ヶ峰の山頂に2機の大型風車が回転している。当日は、管理する「高知県公営企業局電気工水課」の方々を講師に招き風力発電所内の見学をして設備の説明を受けた。

[説明]

- 750キロワット機2基による1,500キロワットの発電能力がある。
- 1年間の発電電力量は、標準的な家庭約700戸分の電気をまかなうことができる。
- 甬喜ヶ峰風力発電所の運転で、1年間に約65万リットルの石油を節約できる。

イ, 観賞会「オカリナ演奏」

- ・観賞会場を再び研修棟へと移し、オカリナ・ケーナの指導にあたっている演奏家大目真一氏（武蔵野美術大学短大部美術科卒）をゲストに招き、本場アンデス魅力ある音楽を古代笛・オカリナ・ケーナ・サンポーニャを使って演奏していただく。自然の中で演奏を聞くことにより、音楽を通して心癒すことができた。

3, 成果と課題

本年度も「甬喜ヶ峰森林公園」をフィールドに開催した。公益社団法人高知県森と緑の会「こうち山の日推進事業」の助成金を受け、大型バス2台をチャーターすることができた。親子での森林学習や自然に親しんだ事は大きな成果として挙げられる。今後は、スムーズな運営と安全面も視野に入れた経験豊富なスタッフの確保である。

平成 30 年 6 月

土佐教育研究会会員の皆様へ

土佐教育研究会会長 中田正康

会報の発行について

会員の皆様には、日頃より土佐研の研究・実践にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、会報の発行に関してですが、会報は会員の皆様への情報提供や、年間の研究活動をまとめた重要なものであると認識しております。本来ならば、例年通り、年間 2 回の発行を行わなければならないところです。

しかしながら、大量退職の時代を迎え、これまで土佐研を支えていただいていたみなさまが職場を去られ、新規の加入がそれに追いついていないのが現状で、財政的には、大変厳しい状態となっています。

そこで、今回発行の会報「土佐」については、昨年度の 2 回目分と本年度の 1 回目分をまとめて 1 回（1 冊）の発行としております。

今後、来年度の予算編成に向けて、会報の発行の在り方や、全体的な収入面、支出面についても検討が必要となっております。

土佐研のこれまでの役割・実績と今後の役割を見据え、取組を進めていきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

土佐教育研究会第9回研究大会のご案内（第一次）

向暑の候、皆様にはますますご清祥にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、土佐教育研究会では、県内の優れた研究実践を交流するために、本部と高知支部が連携し土佐教育研究会研究大会を開催しています。

本年度も下記の日程で第9研究大会を開催いたします。皆様方におかれましては、ご多用とは存じますが、お繰り合わせのうえ多数ご出席いただきますようご案内申し上げます。

言 己

1. 期 日 平成30年8月17日（金）
2. 主 催 土佐教育研究会 土佐教育研究会高知支部
3. 後 援 高知県教育委員会 高知縣市町村教育委員会連合会 高知市教育委員会
高知県小中学校長会 高知県小中学校教頭会 一般財団法人高知県教職員互助会
公益財団法人日本教育公務員弘済会高知支部 公益財団法人高知県文教協会（申請中）
4. 場 所 高知市立自由民権記念館
高知市棧橋通4丁目14-3 TEL 088-831-3336
5. 日 程 12:30～13:00 受付
13:00～13:20 開会行事
13:15～15:00 支部提案〔高知・中部・西部支部より〕
< 休 憩 >
15:10～16:40 講 演
演 題 「 」
講 師 西原 美幸 先生（広島大学附属小学校 指導主事）
16:40～16:50 閉会行事
6. 参加費 無 料
7. 申し込み方法
参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、土佐研事務局にお申し込みください。
FAX：088（824）9848

*締め切り 平成30年7月13日（金）
（FAXでまたは郵送でお願いします。）
当日参加もできます。

..... 切り取り線

第9回研究大会の参加を希望します。

所 属	氏 名

土 佐 第 143 号

2018年 6月発行・編集発行 土佐教育研究会・印刷 高東印刷

題字 本山町立嶺北中学校 校長 大谷俊彦